

伊藤さんに教育長賞

路

チューバで新人演奏会 「音楽で地域貢献」

釧

第44回釧路新人演奏会（釧路音楽協会主催）における最高賞の釧路市教育長賞に、チューバで出場した白糠高校教諭の伊藤将史さん（26）が選ばれ、24日に市教委の教育長室で賞状の授与式が行われた。

同演奏会は、釧路での公演経験がない音楽家を市民に知ってもらう機会にと、1年おきに開かれている。今年は新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら23日に開催し、4人が出場した。

伊藤さんは中標津町生まれ。高校からチューバを始め、東京音楽大学を卒業。東京や長野などで室内楽の

公演経験があり、白糠高には16年から勤務している。演奏会では「チューバのいろいろな表情を出せる曲」と酒井格さんの「黒潮の使い」を選び、前回教育長賞を受賞した千葉皓司さんのピアノ伴奏に合わせて披露。技術力の高さが評価された。

この日は岡部義孝教育長から賞状と記念品が贈られ「本当に光栄でうれしい」と喜びを語った。練習場所を提供してくれた職場の協力で受賞できたとし、「観客の前で演奏する機会をつくっていただき、多くの方が来てくださった」と主催者や観客にも感謝。今後は

「世の中が大変な今、必要なのは文化、音楽だと思う。どんな形であれ、地域に貢献していけたら」と意欲を示した。

（片山新平）



岡部教育長から賞状を受け取る伊藤さん